

たばこについて

—たばこは本当に有害か?—

42期生

I テーマ設定の理由

「たばこは体に悪い」という言葉をよく耳にする。また、ある人がたばこを吸うと、周りの人の健康に影響を及ぼすともいわれている。しかし、実際は今でも多くの人たばこを吸っていて、私の父もその1人である。悪いといわれても吸いたいと思わせるたばこには、いったいどんな魅力があるのか、たばこの害についてはどう考えるのか。このようなことについて、いろいろな立場の人の意見をきき、自分なりにまとめてみたいと思い、このテーマを設定した。

II 研究方法

- (1) 文献調査 たばこの材料、葉たばこの栽培など。
- (2) アンケート 附中生はたばこの害をどう考えるかなど。
- (3) 会社訪問 日本たばこ産業株式会社関西営業本部を訪問して、たばこの製造方法や、たばこの害についてのお話をきく。
- (4) 新聞記事より 医者意見を抜き出す。

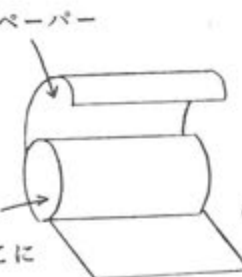
III 研究内容

1 たばこの構成

- (1) 葉たばこ
銘柄固有の味を出すために、多くの種類の葉たばこを混ぜ合わせている。
- (2) 香料
砂糖のほか、チョコレートやドライフルーツ、スパイスなども味つけに使う。
- (3) 巻紙
無味無臭で葉のきざみと同時に燃えるようにするため、麻100%製のものが多い。
- (4) フィルター
たばこの煙をろ過して味を軽くする。長さや成分も工夫されている。
- (5) フィルターチップペーパー
細かい穴をあけて空気を入れ、煙をうすめている。味への影響も大きい。

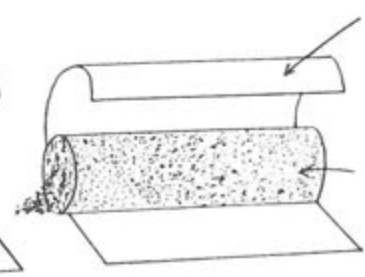
フィルターチップペーパー
デザインも工夫

フィルター
マイルドなたばこに



巻紙
麻100%製

たばこの葉
味つけもたっぷり



▲たばこの構造

2 たばこができるまで

(1) 農家でたばこを栽培する。

たばこの種子は、1万粒の重さが、約0.6~0.7gという極めて微小なものである。一般的には、3月ごろに種を播き、8月ごろに葉の収穫をする。収穫された葉たばこは、乾燥され、一応の目安として各耕作者によって等級づけが行われて、たばこ会社に買い取られる。

(2) 葉たばこの熟成

たばこ会社に買い取られた葉たばこは、一定の加工（微生物や害虫を死滅させるなど）が施されてから、たるにつめられて、約2年間の熟成に移っていく（図3）。これは、たばこの味をまろやかにするためである。

(3) ブレンドする。

熟成を終えた葉たばこは、産地や年産、葉の位置、品質などで無数の種類に分かれている。これらを組み合わせ、銘柄固有の味が出るように工夫されている。

(4) 加工処理

ブレンドされた葉たばこは、次に加工処理される。水分と熱で蒸したり、焼いたり、砂糖などを加えたりするのである。これらはほとんど機械で自動的に行われる。十分に処理された原料葉たばこは、裁刻機で刻まれ、もう一度香料が加えられて、約一昼夜寝かされる。

(5) たばこの巻紙、包装

最新の機械では、1分間に8000本の巻をつくることができる。しかし、現在一番多いのは、1分間に4000本のはやさで巻き上げる機械である。巻き上げるのとほぼ同時に、巻とフィルターがフィルターチップペーパーでつながれる。

巻き上げられたたばこは、包装機に送られて包装される。それから何重かの中間包装をされて、最後には段ボールに詰められ、倉庫に移されて、出荷を待つことになる。



▲図2 葉たばこの収穫



▲図3 葉たばこの熟成

3 日本たばこ産業株式会社の取材より（会社の方のお話）

(1) 会社の仕事

昭和60年4月1日に専売公社から日本たばこ産業株式会社（JT）に変わった。いちばん大きな違いは、JTは専売公社が民営化されたものなので、変わる前はたばこと塩しか扱っていなかったが、JTになって事業に広がりもてるようになったことである。現在、JTでは、たばこと塩のほかに食品事業（清涼飲料の製造・販売）、エンジニアリング事業（工業用プラスチック製品の製造、自動車用座席シートなどの製造・販売）、医薬事業などを行っている。しかし、JTではやはりたばこが主流で、90%以上をたばこ事業が占めている。他の事業はすでに他の会社がいろいろやっているの、第2の柱はなかなか出てこない。また、専売公社時代には輸入もしていたが、JTになってからは外国たばこを扱わなくなった。今は、輸入代理店（商社など）が輸入し、直接店に入っている。

最近輸入たばこが増えてきている。国産たばこは、紙巻きたばこ、きざみたばこ、パイプたばこ、葉巻きたばこを合わせると、111銘柄ある。輸入たばこは、正確には分からないが、JTも加入している日本たばこ協会に300弱の銘柄があり、その他のものを合わせると、350~400銘柄ある。そして、輸入たばこが平成元年では14.7%ぐらいを占めている。これは著しい伸びである。JTでは、これとの競争に勝つために、人々の個性化、多様化に合わせて新製品の販売をしたり、地方の文化祭などで売らせてもらったり、店に扱ってもらおうようお願いしたりしている。

(2) 現在の喫煙者

・日本の場合

昭和63年4月

	男	女
成人人口	4271万人	4565万人
喫煙者率	61.2%	13.1%
喫煙者数	2614万人	598万人

※喫煙者率は、ある特定の場所での調査によるものである。

喫煙者数は、成人人口と喫煙者率から求めたものである。

・日本に比べると、外国（アメリカなど）は喫煙者率が低く、男性30%台、女性10~20%台ぐらいである。

(3) 喫煙と健康

① JTのみる喫煙者の動き

たばこが健康に悪いと言われだしても喫煙者数はほとんど変わっていない。

喫煙者率の推移

	男	女
昭和58年	66.1%	15.5%
昭和62年	61.0%	13.4%
昭和63年	61.2%	13.1%

最近、左の表のように、横ばいか多少の下降みである。

② 肺ガンとの関係

昭和30年代ぐらいから、外部機関に依頼していろいろ研究してもらっている。世間で言われているのは、疫学調査によるもので、肺ガン患者の中に喫煙者が多いということだが、医学的に解明されないとわからない。実際、犬やねずみにタールをぬり続けてガンができるかどうかを調べた実験では、ガンができたのはアメリカの1例だけで、それも人間になおすと1日に何百本ものたばこを吸ったことになるものであった。だから、必ずしも害があるとはいえないと思う。

たばこは、ストレス解消や気分転換に役立つところもあるのに、悪い面だけがマスコミに報道されて、世間がそれを真実としてうけとってしまう。それには問題があるのではないか。最近、たばこ=悪という報道は減ってきたと思うが、すでに小学校で保健の授業の1つとしてたばこの害をとりあげている。会社としては、未成年者の喫煙はよくないということを教えてほしいと思っているのだが…。

③ 会社の意見のまとめ

- ・ たばこというのは嗜好品で、コーヒーなどと同じようにとりすぎはよくない。これは何の場合でも同じことだから、喫煙者のほうで自分の体調に合わせるなど工夫して吸ってほしい。
- ・ 喫煙者のマナーも大切である。しっかり自覚して吸ってほしい。
- ・ 未成年者の喫煙は絶対によくない。子供のうちは完全に体ができていないし、精神的にも責任感がないので、やはり喫煙は完全に体のできた大人になってからが望ましい。

4 医者の意見(朝日新聞紙上より)

たばこに対する感受性に大きな個人差があるということが調査によりわかった。喫煙本数が約4割少なくても、遺伝子の型によっては肺ガンになりやすい人もいるということだ。しかし、たばこを吸うと肺ガンになりやすいことは統計的に明らかである。喫煙の開始が早ければ早いほど害は多く、早くやめた人ほど肺ガンにはかかりにくい。喫煙者の中には、たばこを吸わなくても肺ガンになるのだから吸っても一緒だと考える人がいるが、肺ガンの中には喫煙に関係のあるものとなないものがあるのだから、少しでも肺ガンを防ごうと思うのなら禁煙すべきである。たばこが肺に及ぼす影響は、肺ガンのほかに肺気腫がある。肺胞の構造が壊れてしまうという肺ガンより怖い病気である。たばこを吸えば太らないと言う人がいるが、たばこがダイエット療法として効果があるのではなく、たばこをやめると口がさびしくなるためについつい間食して太ってしまうことに対比して言っているだけである。また、煙をふかしているだけで肺まで吸い込んでいないから大丈夫という人もいるがニコチンが唾液にとけこめば、血管にも消化器にもよくないし、周りの人の健康にも悪い。このようにたばこは百害あつて一利なしなので今すぐやめるべきである。

ガン防止のために欧米諸国ではすでに「禁煙指導法」が確立している。最近、日本でも、これを日本人に合わせて開発し、実践に移して着実に成果を上げつつある。当面の目標は、喫煙率を50%以下にすることだ。ガンは「生活習慣病」の側面を持っているので、その予防には普段のライフスタイルを見直すことが大切である。

5 喫煙に関するアンケートより

附中の3-A、3-Cの60人に喫煙に関するアンケートに答えてもらった。

(1) 家族の喫煙状況

- Q: 家族の中で現在たばこを吸っている人がいるか?
- | | |
|------------|-----|
| ・ いる…………… | 30人 |
| ・ いない…………… | 30人 |
- Q: たばこを吸う人がいる家庭で、喫煙しない人は喫煙をどう思っているか?
- | | |
|----------------|-----|
| ・ 気にしない…………… | 13人 |
| ・ いやがっている…………… | 17人 |
- Q: どうして喫煙がいやなのか?
- (複数回答あり)
- | | |
|--------------|-----|
| ・ 健康に悪い…………… | 8人 |
| ・ 煙がいや…………… | 13人 |
- Q: 家族の中に喫煙をやめた人がいるか?
- | | |
|------------|-----|
| ・ いる…………… | 16人 |
| ・ いない…………… | 44人 |
- Q: どうしてやめたのか?
- (複数回答あり)
- | | |
|----------------|-----|
| ・ 健康に悪い…………… | 11人 |
| ・ 病気をした…………… | 3人 |
| ・ 家族がいやがる…………… | 4人 |
| ・ 子供のため…………… | 1人 |

(2) 喫煙と健康について

- Q: たばこがまわりに与える影響があると思うか?
- | | |
|--------------|-----|
| ・ 思う…………… | 56人 |
| ・ 思わない…………… | 2人 |
| ・ わからない…………… | 2人 |
- Q: たばこはガンと関係があると思うか?
- | | |
|--------------|-----|
| ・ 思う…………… | 53人 |
| ・ 思わない…………… | 6人 |
| ・ わからない…………… | 1人 |
- Q: 大人になったらたばこを吸ってみたいと思うか?
- | | |
|--------------|-----|
| ・ 思う…………… | 9人 |
| ・ 思わない…………… | 49人 |
| ・ わからない…………… | 2人 |

Q: 吸ってみたい理由は?

- | | | | |
|---------------------|----|---------------|----|
| ・ かっこいい…………… | 3人 | ・ ストレス解消…………… | 3人 |
| ・ おいしそう…………… | 2人 | ・ なんとなく…………… | 1人 |
| ・ ためしに1度吸ってみたい…………… | 1人 | | |

(3) 考察

家族の喫煙をいやがっている人が半分以上であるということは、やはり喫煙者もまわりの人の迷惑を考え、マナーを守って吸うべきだと思う。喫煙がいやな理由は予想通りだった。また、喫煙をやめた人の理由も「健康に悪い」というのがいちばん多かった。このあたりからもたばこに害があると考えている人が多いことがわかる。大人になったらたばこを吸ってみたいと思う人が意外に少なかった。これはやはり、喫煙が健康によくないということを意識してのことだろうか。

反省点は、登校日にあわててやったために喫煙者自身の回答が得られなかったことだ。しかし、中学生の喫煙に対する考え方を少しは知ることができてよかったと思う。

IV 結論

たばこ会社の方の意見と医者との意見とは大きな違いがあった。やはり、たばこを売る側にとっては、喫煙者が減るといことは重大な問題なので、害は最小限にとどめておきたいという気持ちはよくわかる。が、医者への意見には納得させられるものがある。私は、喫煙は体に悪影響を及ぼすと思う。たばこ会社の方が言われたように、まだ医学的には解明されていないが、統計で喫煙者は肺ガンになりやすいという結果が出たのだから、喫煙するか、喫煙本数を減らすかしたほうがよいと思う。

1日もはやく喫煙と健康の関係が医学的に解明されることを願う。

V 総括

たばこの害は、専門家でもまだはっきりとは解明できていない問題なので、「たばこは本当に有害か？」というテーマに対する明確な解答は得られなかった。しかし、JT、医者、それぞれの方の意見を参考にして、自分なりに取り組んでみることでよかったと思う。

最後に、突然の訪問にもかかわらず、長時間にわたって、親切に説明して下さった日本たばこ産業株式会社関西営業本部の方々には、感謝の気持ちでいっぱいだ。

「未成年者の喫煙はよくない」

これはJTの方が何度もおっしゃった言葉である。

VI 参考文献

- | | | | |
|------------------|-----------|-----|------------|
| ・たばこ屋さんが書いたたばこの本 | 村上征一 | 三水社 | 1989年6月1日 |
| ・たばこ博士の本 | 高岡市郎 | 地球社 | 1976年10月1日 |
| ・たばこおもしろ雑学事典 | 講談社編 | 講談社 | 1987年3月10日 |
| ・朝日新聞 | 平成2年6月19日 | | |
| | 6月30日 | | |
| | 8月18日 | | |

〔協力〕

日本たばこ産業株式会社関西営業本部